

地球ひろば

ともに つくる ぼくらの未来

協力: JICA (ジャイカ)
https://www.jica.go.jp/hiroba/

キルギス②



- 国名 キルギス共和国
- 面積 19万8500平方キロメートル (日本の約半分)
- 人口 600万人 (2016年: 国連人口基金)
- 民族 キルギス系 (72.6%)、ウズベク系 (14.5%)、ロシア系 (6.4%) など (キルギス統計委データ)
- 言語 キルギス語が国語 (ロシア語は公用語)
- 宗教 イスラム教スンニ派 (75%)、ロシア正教 (20%)、その他 (5%)
- 時差 3時間 (日本が進んでいる)

フェルトで一村一品



フェルト商品を作る女性たち。仕事場には女性のにぎやかな声が響きます

一村一品プロジェクト
チーフアドバイザー
おがわまさみ
小川正純さん



小川さん(中央)と商品を作る女性たち

食品メーカー「味の素」で食品の海外営業等に従事した後、シンガポールに駐在。その後JICA職員としてタイを中心とした東南アジアをはじめ途上で国際協力の仕事をしてきました。2017年4月からキルギスで一村一品プロジェクトのチーフアドバイザーとして働いています。ほかの3人の日本人専門家とチームを組んで、日本人とそっくりの顔をしたやさしくてまじめなキルギスの人々と一緒に毎日楽しく仕事をしています。



草木染めされたフェルト商品

協力し合うことが大事

地域で人々が生活する上で協力し合うグループのことをコミュニティと言います。コミュニティは地域の産業や流通を共同で効率的・効果的に行っていく上で大事なものです。キルギスでソ連(今のロシアなど)が崩壊した後、地方では仕事がなくなり若者が仕事を求めて国外に出稼ぎに行くなど、人々の結びつきや地域のコミュニティが機能しなくなって経済活動が妨げられ、貧困問題が深刻化していました。また、田舎の地域では女性の地位が低く、家庭の用事以外で女性が出かける機会はほとんどありませんでした。

発祥は大分県

私たちはこのような問題を解決するために、日本の大分県発祥の一村一品運動を参考として、地域の産業やコミュニティの活性化を支援しています。発展から取り残されたキルギスの農村部などで、その地域にある資源を生かした産業を活性化させ、加工したりすることで商品の付加価値を高めることが人々の収入につながっています。

住民と世界をつなぐ

キルギスでは、昔から遊牧民に飼育されていた羊の毛と地域の自然素材を利用し、

草木染めのフェルト商品が地元の人々の手で作られています。素材と品質にこだわった商品を作って世界に認められ、現在では日本の無印良品や世界の会社との取引が進んでいます。地元の人々が地元の素材を使って世界に誇れる商品を作ることは、住民の貴重な現金収入となるだけでなく、商品が届く先の世界とつながることによって自信と誇りが芽生えます。

さらに、家庭に閉じこもりがちな農村部の女性の社会的地位向上にもつながっています。キルギスのこの取り組みはイシクル州という地域で始まり、2017年からはキルギスの全国に広げる活動がスタートしました。

はじめようSDGs

調べてみよう
かんがえてみよう



Q1 1枚のTシャツをつくるために、どのくらいの量の水が必要だろう?

Q2 今日1日を振り返って、どんなところで資源のむだ遣いを減らすことができるだろう。

例: サイズが小さくなったけれどまだきれいなスカート。捨てないで、リサイクルショップに持って行く

★もっと知りたい人は……2018年1月12日までJICA地球ひろば(東京・市ヶ谷)で、企画展示「衣を通じて見る世界」好評開催中。

Q1の答え: およそ2900リットル(日本の一般的なトイレの容量で約14.5リットル)

の多くは、私たちが囲む生活用品

12 つくる責任
つかう責任



限りある資源

まだ食べられるもの、使えるものを簡単に捨ててしまったりしていませんか? 日々の生活の中で、私たちができること、持続可能なライフスタイルはどのようなものか、一緒に考えてみましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

持続可能な開発目標 SDGs

(Sustainable Development Goals)

2015年に国連の場で加盟国が決めた30年までの世界の目標です。



源によって作られています。こうした水、石油・エネルギー燃料、鉱物、森林など、地球上の天然資源には限りがあります。SDG12では、環境との共存を図りながら、ものを作り、使い、再利用するなど、私たちが一人一人が資源をむだにしないよう、責任を持つことが期待されています。